

女川町高齢者福祉住宅ボランティア

「介護予防の集い」 プロジェクト

女川高齢者福祉住宅
見学!!

「今回は今後活動の拠点の一つとなる女川町にある高齢者福祉住宅を見学させて頂きました!!」



日付:8月15日

「集い」プロジェクト 高齢者福祉住宅見学！！

第一回目

「集い」とは？

「介護予防の集い(略称:集い)」は、集会所等に私たちのスタッフが出向き、被災地域の高齢者へ、運送指導・身体調整・身体機能向上を行う、イベント型のボランティア活動です。

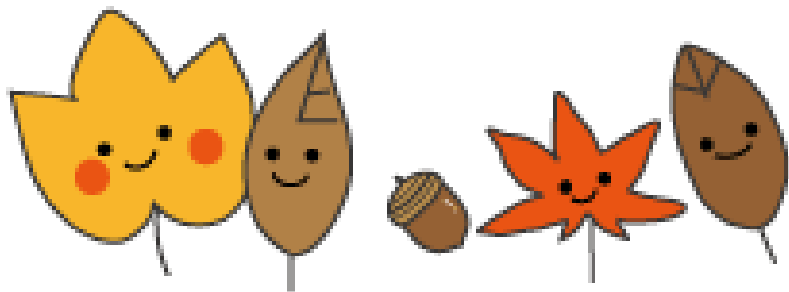


高齢者福祉住宅とは？

町内唯一の医療機関であった旧女川町立病院が、平成23年10月から介護施設と一体化した女川町地域医療センターとして被災された高齢者の仮住宅として一部提供されております。

女川町高齢者福祉住宅 を見学してみても…

綺麗な青空の中、今回は今後活動の拠点の一つとなる女川町にあります高齢者福祉施設を見学させて頂きました。拠点見学は活動への第一歩となりますので、今後のイベントとして予定している栄養指導を担当して頂くことになりました(株)ドクターミールの代表取締役であり女子栄養大学の講師である小野社長と統括マネージャーの田所さんにも施設見学へ参加させて頂きました。



現状

「食事」が十分に行えない

「体力」の低下

実際の施設見学では、もともと高齢者福祉施設を利用しているので各住居者のスペース自体は十分なものの、あくまでも仮設住宅であるが故に、高齢者が生活するには不自由な点がいくつかありました。

一つは食生活です。大切な健康も食生活からです。そんな中、施設の方の食生活は自己管理で行うので十分な食事を行うことができません。また、入居者のほとんどが高齢者な為、食事の買い物をする体力や手段がないことから冷凍食品で済ませる方が多いのが現状です。

そこで二つ目に問題となるのが、体力です。体力とは人間が自立して生活をスムーズにする為必要不可欠なものです。買い物に行ける手段もない方たちは住居にこもりっきりになるので運動も十分には行えていません。体力は落ちる一方です。

また、この仮設の利用には期限があり、孤独な一人生活に戻るまで、少しでも自立して生活できる体力をつけて頂くのが私たちの目的であります。

そんな二つの点へ私たち日本調整療法協会は楽しく自立した生活を送って頂けるよう今後支援して行きたいと考えております。

今後の活動も随時報告していきますので是非ご覧になって頂き、被災地の現状、未来と一緒に感じて頂けたら嬉しいです。